

## お知らせ

# J A士幌町の強固な農業基盤と高いJ A結集力

「地域と農業―一四号」に掲載した「J A士幌町における准組合員対応と地域貢献」の記事の中で士幌町の農業産額は十勝の市町村の中で三番目と紹介されているが、J A販売取扱高ではJ A士幌町が十勝のトップであるとの声が寄せられました。そこで、農業産出額とJ A販売取扱高の違いを検証してみましょう。

## 一．士幌町の農業産出額と

### J A士幌町の販売取扱高の違い

農業産出額とJ A販売取扱高は、どちらも農業生産物の生産額を示していますが、士幌町の平成二九年農業産出額は二九〇億円であり、十勝の市町村の中で第三位です。一方、J A士幌町の平成二九年度販売取扱高は四〇四億円であり、十勝のJ Aの中でトップです(表1、2)。その金額の差は実に一一四億円もあります。どうしてこんなにも金額が違つのでしょうか。

差が大きい品目は肉用牛・子牛、育成牛、和牛、乳用おす牛等です。J A販売取扱高の方が一一〇億円多くなっています(表3)。その一つの要因はもと牛等の扱いにあります。もと牛(八四億円)等の額はJ A販売取扱高には計上されていますが、農業産出額には、原則、計上されません。もと牛等は肥育や育成に供される生産資材だからです。同様に種いもなどの種子も生産資材なので農業産出額には計上されません。但し、もと牛や種いも等のうち、道外に販売されたものは計上されています。

表1 十勝の農業産出額 上位5市町村

|   | 市町村名 | 平成29年<br>農業産出額<br>億円 |
|---|------|----------------------|
| 1 | 幕別町  | 322.6                |
| 2 | 帯広市  | 304.8                |
| 3 | 士幌町  | 290.3                |
| 4 | 芽室町  | 259.5                |
| 5 | 音更町  | 241.1                |

注) 農水省「平成29年市町村別農業産出額(推計)」

表2 十勝のJ A販売取扱高 上位5 J A

|   | J A名   | 平成29年度<br>J A販売取扱高<br>億円 |
|---|--------|--------------------------|
| 1 | 士幌町    | 404.3                    |
| 2 | めむろ    | 254.7                    |
| 3 | 十勝清水町  | 248.6                    |
| 4 | 帯広かわにし | 237.3                    |
| 5 | 上士幌町   | 208.5                    |

注) J A北海道中央会「2018 J A要覧」

## 二．肉用牛の差の一因は、

### もと牛の自家保留と価格の高止まり

それにしても肉用牛の差の一一〇億円は多額です。肉用牛のJ A販売取扱高と農業産出額の差は、もと牛等の自家保留頭数と価格のほか、農業産出額に計上される肉用牛のJ A出荷率、出荷頭数と飼養頭数の全道に占める割合の差等により生じます。

表3 J A士幌町のJ A販売取扱高と士幌町の農業産出額の差

|       | ①平成29年度<br>JA販売取扱高<br>億円 | ②平成29年<br>農業産出額<br>億円 | ③差<br>③=①-②<br>億円 |
|-------|--------------------------|-----------------------|-------------------|
| 合 計   | 404.3                    | 290.3                 | 114.0             |
| うち畜産  | 311.3                    | 202.2                 | 109.1             |
| 肉用牛   | 200.8                    | 90.7                  | 110.1             |
| (もと牛) | (84.3)                   | (非公表)                 |                   |
| 生 乳   | 82.5                     | 82.4                  | 0.1               |
| 乳用牛   | 28.0                     | 28.3                  | -0.3              |
| その他   | 0.1                      | 0.9                   | -0.8              |
| うち耕種  | 93.0                     | 88.2                  | 4.8               |
| いも類   | 41.2                     | 35.7                  | 5.5               |
| (種いも) | (4.4)                    | (非公表)                 |                   |
| 豆 類   | 14.5                     | 12.0                  | 2.5               |
| (種子豆) | (0.7)                    | (非公表)                 |                   |
| 麦 類   | 6.9                      | 6.1                   | 0.8               |
| 工芸作物  | 16.6                     | 17.3                  | -0.7              |
| 野 菜   | 13.8                     | 17.0                  | -3.2              |
| その他   |                          | 0.2                   | -0.2              |

注) J A販売取扱高はJ A士幌町の総会資料をもとに地域農研で整理。

農業産出額は農水省「平成29年市町村別農業産出額（推計）」。

ただし、道外販売されたもと牛や種いも等の額は非公表。

また、乳用牛は生乳を除いた値。

このうち、もと牛価格は「平成二九年は日豪EPAなど国際化の進展により輸入物へシフトする動きが活発となり、国産枝肉相場は値下がりトレンドとなる一方で素畜費の高止まりが続き、肥育経営はマルキンが発動される厳しい状況」（J A士幌町総会資料）となりました。

もと牛の自家保留頭数と高止まりしたもと牛価格が両者の差を大きくしている一因といえるでしょう。

### 三. J A士幌町の高単価、高単収と高いJ A出荷率

J A士幌町では、農産物（表3の「耕種」）のJ A販売取扱高も農業産出額を四億八千万円ほど上回っています。その主因は、先に述べた通り種いも等の種子の扱いの差ですが、生産物の単価や単収、J A出荷率が高いことも一因と思われます。

実は市町村別の農業産出額は、全道の農業産出額を、農作物は作付面積で畜産物は飼養頭数で、市町村別に按分し算定されています。そのため、単価や単収・単位当り生産量などの市町村ごとの差は反映されていません。その代り、農業産出額にはJ A以外に出荷された分が含まれています。農産物や畜産物のJ A販売取扱高が農業産出額を上回るためには、高い単価や単収・単位当り生産量に加えて高いJ A出荷率も必要となります。

### 四. おわりに

農業産出額はJ A以外への出荷分も含まれるため農業基盤を比較する際に有益な指標です。対して、J A販売取扱高はJ Aへの結集力をみる際に有益です。農業産出額とJ A販売取扱高の値を検証してみると、改めて、J A士幌町の強固な農業基盤とJ A結集力の高さを確認することができました。



研究会・研修会等への  
報告者・講師の派遣  
(令和元年7月～9月)

○「令和元年度

豆類産地懇談会・

豆類需給安定会議」

主催 一般社団法人

全国豆類振興会

公益社団法人

北海道豆類価格安

定基金協会

とき 令和元年9月5日



テーマ 雑豆の需要拡大を支

える品種開発を考え

る

コーディネーター

黒澤 不二男

(当研究所・顧問)

## 人事異動

△退職▽

研究部次長 鷹田 秀一 (10月2日付)

△昇任▽

研究部次長 堀田 貢 (10月3日付)

(前 特別研究員)

## 編集 後記

◆特集「力強い北海道農業の構築に向けて」は美幌町

米夢館の向社長にご登場いただいた。そのお米を愛する熱い情熱と、深い探究心には、お米屋さんという顔だけではなく、研究者、学者としての顔も重なり、敬服するばかりだ。今後マルチなご活躍によりお米を科学し、さらなる魅力の発信をご期待します。

◆今年の北海道は、昨年のような大きな気象災害もなく、穏やかな秋を迎えている。一方、関東、特に千葉県では、九月の台風一五号の直撃で長期間のブラックアウトや家屋の被害に見舞われた地域もあり、同じブラックアウトを経験した立場から、その苦労や不安感、憤りを深く察

## DATA FILE

### 関連事項／DATA

#### 株式会社米夢館

〒092-0003

網走郡美幌町烏里 4 丁目 4 - 1

☎ 0152 (73) 5318

#### ホクレン農業協同組合連合会

〒060-8651

札幌市中央区北 4 条西 1 丁目 3 番地

#### 北海道富良野緑峰高等学校

〒076-0037

富良野市西町 1 番 1 号

☎ 0167 (22) 2594

#### 蘭越町役場

〒048-1392

磯谷郡蘭越町蘭越町258番地 5

☎ 0136 (57) 5111 (代)

#### 一般社団法人 北海道地域農業研究所

〒060-0806

札幌市北区北 6 条西 1 丁目 4 番地 2

☎ 011 (757) 0022

Fax 011 (757) 3111

HP : <http://www.chiikinouken.or.jp>

E-mail : [office47@chiikinouken.or.jp](mailto:office47@chiikinouken.or.jp)



する。自然災害が頻発し、その被害が年々甚大化しているような気がしてならない。これまでの経験や予見を大きく超えた事態に見舞われる場面が増えており、それぞれが体得してきた危機レベルのレンジでは通用しなくなっている。どのように身も

生活も守るか強く考えさせられ

る昨今である。

◆稔りの秋は、食欲もかき立てられ満たされる秋でもある。さっぽろオータムフェストも食の祭典として定着してきたが、全国各地で収穫祭や趣を凝らした旬の食べ物にかかわるイベントが開催されている。思わしくない水揚げ模様ではあるが、町の賑

わいと豊漁を願い、サンマ祭りも盛会に開催されたようだ。やはり、秋を代表する味覚は人々を元気にしてくれる。まぎらわしい消費税論議に翻弄されることなく、いままで同様に旬の味覚を堪能したいものだ。

(片岡 省二)